

長津田地区使用計画の現状

長津田地区利用委員会委員長 浅 枝 敏 夫

主 要 記 事

長津田地区使用計画	1
職員サークル紹介	3
総合研究館進展状況	5
人事異動	6
保健管理センター、図書館委員、他	8

1. 従来の経過

本学の研究体制を強化し、大学院を拡充するために積極的に利用するという長津田地区利用についての基本方針は昭和43年10月の評議会で決定された「岡部地区利用に関する申し合わせ事項」によって定められている。そしてこの申し合わせ事項に基く具体案作成のために、加藤学長（当時工材研所長）を委員長とし多数の教職員を委員とする岡部地区利用委員会（昭和46年に長津田地区利用委員会と改称）が設置されたのは昭和43年12月である。

以来3年有余に亘り慎重審議を続け今日に至っている。その間、昭和46年12月に刊行された「東京工業大学長津田地区の使用計画」にはほぼその全容が記載されているが、本年4月以降各分科会などにおいて更に慎重に審議を重ね7月に48年度概算要求のための資料として「東京工業大学長津田地区の使用計画」（増補）をとりまとめた次第である。あえて増補としたのは今回は大学院総合理工学研究科（学部をもたない大学院）、施設環境計画及び総合研究館を利用して設置を予定している理工学総合研究センターに記述をしばったためである。以下その概要を説明する。

2. 研究所・研究施設

移転予定の資源化学、精密工学、工業材料の三研究所はそれぞれ16、18、18部門に増強拡充し、学部所属の天然物化学、印写工学の二研究施設も部門増強のうえ附置研究所に昇格させ、将来それぞれ13、10部門に拡充強化する。また今後設置される学部所属の研究施設も長津田地区におく予定である。これらの研究所及び研究施設では本来の使命である特色ある独創的研

究を強力に推進することになる。

この場合、長津田地区に設置される総合理工学研究科の教育には研究所教官も多数協力するので、大学院学生の一部は教育の一環として教官の所属する研究所の研究に直接参加し、若い力を存分に発揮することができる。

3. 総合理工学研究科

総合理工学研究科に設置を予定している専攻は、物理情報工学、電子化学、材質科学、材料工学、社会開発工学、電子システム、精密機械システム、生命化学、化学プロセス、エネルギー科学、システム科学の11専攻で、このうち物理情報工学専攻は既に昭和47年度において、暫定的に大岡山地区理工学研究科の一専攻として設置されている。

各専攻はほぼ6～8講座からなり、大学院専任教官からなる基幹講座と学部または附置研究所からの併任教官からなる協力講座の二種類がある。また基幹講座には専攻設置に当って新設されるものと学部講座を振替えるものがある。

本研究科は大岡山地区理工学研究科と同様に本学の卒業生のみならず他大学の卒業生に対しても門戸を開くと同時にいわゆる生涯教育のための学生や外国人留学生をも受け入れる方途を講ずる。また本研究科の専攻は従来の専攻と異なるいわゆるインターディシプリナリーな専攻であるから、学部学科の異なる学生が同一の専攻に属し新たな学問分野の勉学を行うことになる。修士課程の入学定員は完成時においておよそ300名程度を目標としている。博士課程の入学定員については目下検討中である。

本研究科には最高管理責任者として研究科長をおき、最高意志決

定機関である総合理工学研究科教授会の議長となる。教授会は研究科に所属する専任および併任の教官で構成する。研究科長のもとには事務長を責任者とする事務組織を設ける。

4. 理工学総合研究センター

長津田地区には上記の研究所、研究施設、総合理工学研究科のほか、全学共同利用の理工学総合研究センターの設置を予定している。

各研究所あるいは学部学科の研究室では行い得ない比較的大規模な協同研究および、基礎研究や上記の協同研究の成果のうちさらに重点的かつ組織的に進展を図ることが望まれる開発的研究をプロジェクト研究として進めることが、本学が吾国の科学技術の振興発展の一翼をになうためにはどうしても必要となる。

幸に当初大岡山地区に建設を予定されていた創立80周年記念事として集められた各方面からの寄付金による総合研究館を長津田地区に建設することに総合研究館建設事業資金募金会の了解が得られたので、この建物を本学に寄付して頂いたのち、これを上記の理工学総合研究センターの建物にあてる予定である。

センター内にはいくつかの計測室と研究室を設け、物質分析、構造解析、物性計測用の機器および電子計算機などの高性能機器を集約的に整備し、学内共同利用に供することはもちろん、広く国内外の教育機関などに解放して技術講習会の開催、研修生の受入れを行なう予定である。

また現実の問題として総合理工学研究科の建物が建てられるまでの暫定期間、上記の研究室は研究科学生教育の場として重要な役割を果たすことになろう。

5. 施設・環境計画

施設、環境計画は学長直属の長津田建設計画室において立案され、建設・環境部会において審議のうえ決定された。その主眼は高度な教育研究の場にふさわしく、教職員、学生が健康で快適な日常生活が営める環境を作り出すことにおかれている。即ち豊かな緑と変化に富んだ地形をもつ自然環境を最大限に生かし保全するために、集約的な機能を有する建物密度の高い領域と、自然環境を豊かに保全整備する領域を明確に区分するよう考慮してある。

また生活施設として、野球場、テニスコート、バレーコート、プールなどの体育施設、食堂、保健施設、宿舍などを計画している。

一方、最近の公害問題にかんがみ、周辺居住者の環境をそこなうことのないよう、汚水特に実験室、研究室からの排水については0次、1次、2次の三段階の処理を行ったのち、調整槽、沈澱槽、貯留槽および曝気槽で処理し、セトラーを終て最終池で生物処理したのち汚水管に排出するという完全な処理システムを確立した。

大岡山地区との通信連絡については大岡山地区交換設備に専用線用装置を設けて内線電話機で相互に直接通話することができるようにする。また将来は両地区間に専用マイクロ波回線を設備してファクシミリやデータ通信などにも使用して両地区の有機的一体化を計る。次に各施設の面積、施設配置図を示す。

6. 結び

以上長津田地区使用計画の現状の概要を述べたが、本計画立案は大学改革にも密接に関連する重要な仕事であるので、委員その他には本学の全機能を動員して万全を期しているが、今後とも関係各位の熱心な御助言と御後援をお願いする次第である。

(1) 各研究所、研究施設

区 分 研究所等	現 在		将来 (現在を含む)	
	部門数	面積㎡	部門数	面積㎡
全 体 共 通 施 設		3,200		7,760
資 源 化 学 研 究 所	11	6,380	16	9,280
精 密 工 学 研 究 所	14	8,120	18	11,795
工 業 材 料 研 究 所	8	5,840	18	18,240
天 然 物 化 学 研 究 所 (現在研究施設)	4	1,800	13	5,850
印 写 工 学 研 究 所 (現在研究施設)	3	1,350	10	4,500
理 学 関 係 研 究 施 設			6	2,700
工 学 関 係 研 究 施 設			16	7,200
計	40	26,690	97	67,325

(2) 大学院施設 25,000㎡～30,000㎡

(3) 理工学総合研究センター 8,250㎡
(Ⅲ-2-(5)の項参照)

(4) 供給・設備センター 屋内面積 1,880㎡
屋外面積 726㎡
合 計 2,606㎡

(5) 宿 舎 3,000㎡

(6) 運動施設 小野球場 4,900㎡

テニスコート(2面) 726㎡

バレーコート(1面) 594㎡

プール(1基) 462㎡

合 計 6,682㎡

(7) 汚水処理施設 2次処理施設 2,500㎡

最終処理施設 5,000㎡

合 計 7,500㎡

(8) 面 積 率

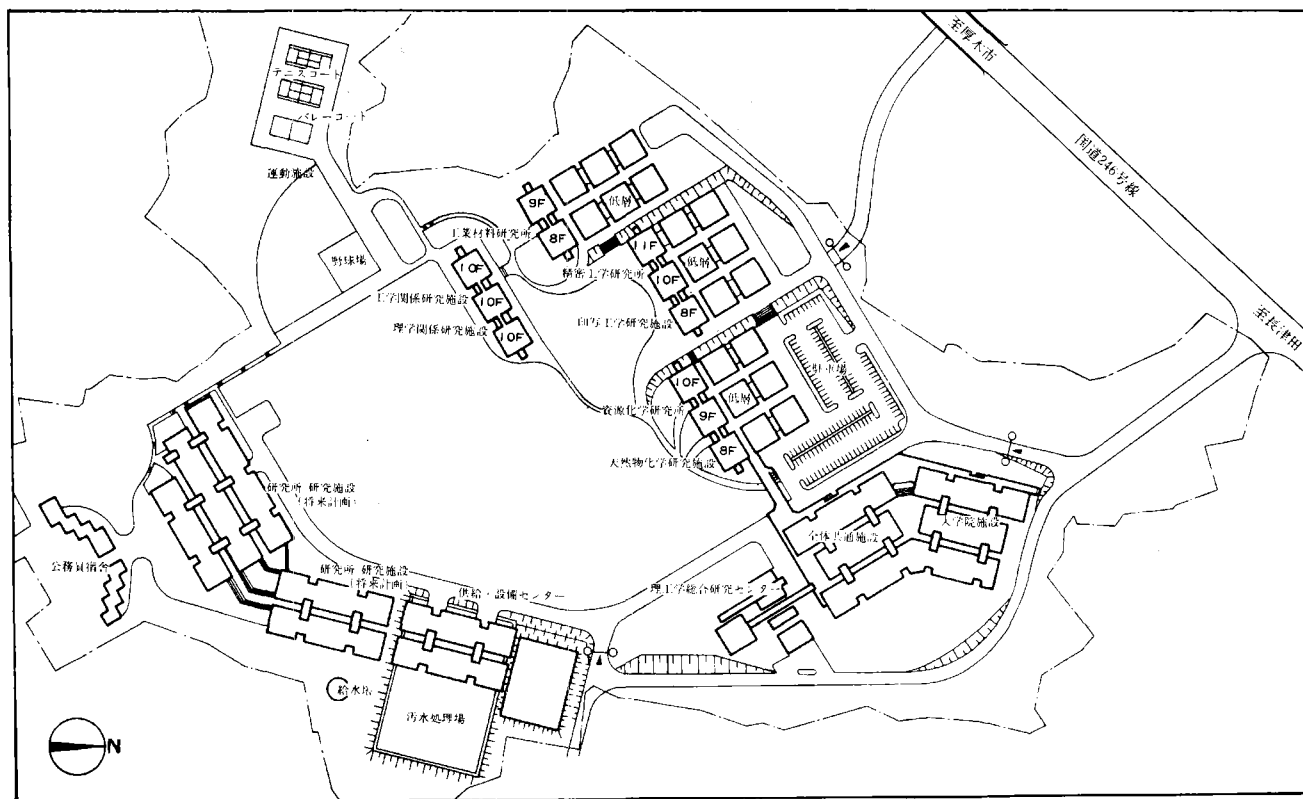
敷地面積 167,611㎡

延床面積 110,455㎡

有効敷地面積 105,303㎡

容積率 65.9%

有効敷地面積に対する容積率 104.9%



職員サークル紹介

現在、東工大教職員による文化・体育関係サークルはあわせて16サークルありますが、活発に活動しているサークル、比較的停滞しているサークルなどさまざまです。

さきに行なった「教職員の福利厚生に関するアンケート」調査の集計結果の中にも職場のサークル活動についてのPRを望む声がありました。今回はそのうちの一部のサークル（ゴルフ、バレーボール、書道、謡曲、盆栽は未掲載）の活動状況などとりあげてみました。

卓球部

卓球部は現在部員男子9名、女子4名、計13名で昼休み随時練習を行なっています。主な活動状況は春秋に行なわれる文部省所管東京地区教職員卓球大会です。本大会は文部省共済組合主催の大会が隔年ごとの開催に変更されたことにともない1年間の空白を惜しみ昭和41年春から個人戦の大会を実施したのが始まりです。個人戦の種目は1、男女シングルス 2、男女ダブルス 3、混合ダブルス 4、男女シングルス年令別に分かれそれぞれ試合を行なっています。参加資格は教職員ということだけです。なお、本大会には15機関延参加人員シングルスだけで130人を数える大きな大会となっております。

連絡先 経理部主計課 内線 2014

中井敬一

硬式庭球部

現在硬式庭球部は職員用コートがないため学生用コートを昼休み時々使用しています。そのため1回の練習もわずかな時間に限られ殆んど練習にならないので活動休止の状態です。かつては職員用コートが2面あり常時40～50名程度の男女が在籍してにぎやかでしたが、ここ数年来コートを求めてジプシーの如く放浪している間に部員もちりちりになってしまいました。それでも対外試合はその都度参加しており、今年度は職員用コートも再建されとのことですから大いに期待しています。また、これが実現されたら猛練習して以前の繁栄を復活したいと考えています。

連絡先 経理部主計課 内線 2019

郡 茂男

軟式庭球部

我々軟式庭球部は東工大に働く教職員のテニス同好者が集まって構成され現在の部員は約16名の仲間がおります。昨年までは職員専用のテニスコートがあったのですが、今はそれもなくなってしまいましたので学生用コートを使用して練習しています。しかしながらそのような状態にあっても我々仲間は毎年行なわれる東京地区国

立大学職員庭球大会や2年に一度行なわれる文部省共済組合東京地区体育大会、その他の対外試合において我々先輩達の築かれた実績と伝統を守り受けついで今日に至っております。我々仲間はコートに出て白球を追いかけるとき、そして白球を力一杯打つ時何とも言えないそう快さを感じています。また、テニスを離れても仲間の連帯感は深い強い絆で結ばれ、スキーに旅行にと行動を共にしています。このようにすばらしいテニス部に興味をおもちの方、同好の方、上手下手は別として我々仲間と共にコートで白球を追ってみませんか。

連絡先 経理部経理課 内線 3018

諏訪登美夫

サッカー部

サッカークラブは昭和43年に発足し初めは事務職員の同好者が集ってできたもので、本学の教職員であれば、どなたでも入部できます。サッカーの経験の有無を問わず、若人のエネルギー発散のため、中年の方の健康維持のためなど、理由のいかなを問わず入部を歓迎します。サッカー部の活動状況は東京社会人サッカーリーグCブロックに加盟しており4月から11月の間にリーグ戦として8試合行なうほか他のクラブとの練習試合をしています。

練習 月曜日～金曜日（12時～13時）グラウンド

連絡先 工学部事務部 内線 3108

山口るり子

空手部

東工大職員空手部は昭和45年6月に発足し今年で2年目を迎え、現在部員20余名をかかえ武道館において毎日昼休みの時間等を利用して練習にはげんでおります。去年一年をふりかえってみると3月と7月には荒川区空手道大会出場、6月には発足一周年を記念して祝賀会を開き、8月には八丈島で4泊5日の合宿練習を行ない、12月には学生空手部と交換試合を行なうなど活発な活動をくりひろげてきました。我々空手部では心・技・体あわせもった日本の伝統的武道である空手を究めることを正しい指導者のもとで一步一步進めており、これから空手に興味がある職員がどしどし入部することを望んでいます。

連絡先 理学部用度掛 内線 2106

佐藤 誠

エサマキ会

海のエサマキ同好会で趣をひとつにする方々で構成した楽しいサークルです。釣船に乗り春の海に糸をたれる等そ

職員サークル紹介

の活動は四季をとおして行なっています。

対象魚はアジ、サバ、白ギス、イシモチ、ハゼ、カレイ、メバル、アイナメなど多様にわたっています。

最近我々の憩いの場である海が汚染され、魚族が激減と滅亡にさらされており、会員一同大変に憂慮いたしております。環境庁をはじめ各種団体が一体となって青い海をとりもどす努力が実現することを願っております。

連絡先 施設部施設課 内線 3023
榎本雅一

茶道会

交通戦争、ごみ戦争、〇〇公害とさわがれているこのあわただしい生活の中に、自分の時間をほんのひととき持ってみませんか。お香の焚れた室でお湯の沸く音やお茶の点つかすかな物音を聞きながらお菓子をいただき、お茶をいただく、そんな時間が必要ではないでしょうか。私はお行儀が悪いから……などと言わないでみんな最初はそうですから心配しないで気楽に更衣室をのぞいてみてください。お待ちしております。

稽古日 週一回（木曜日、金曜日のいずれか）

点前指導 入野野宗香（裏千家準教授）

連絡先 経理課給与掛 内線 3012
中島三枝子

写真同好会

写真同好会は昭和26年に発足してから本年で満21年を迎えることになります。その間休むことなく毎月1回例会を開いております。例会には学外から講師を招いて指導を受けております。現在はフジフォトサロン所長大場栄一氏が担当され毎回100点内外の作品について批評を受けております。また撮影会を行ない郊外に、モデル撮影にと出かけ、その結果を例会に持ちよって指導を受けております。このほか作品発表の場として全学祭、文化祭等に展示会を開催して皆様に好評を博しております。職場の皆様の中で写真に興味をもつ方、また、これから写真をはじめようかと思われる同好の志は入会を大歓迎いたします。また、会員外の方でも写真に関する相談に応じておりますから遠慮なくお申しいでください。

連絡先 工学部事務部 内線 3102
井上康博

囲碁部

囲碁部は現在21名で毎月第2土曜日の午後本館地下更衣室で例会を開いております。囲碁は今、静かなブームとなっております。せかせかとした昨今ですが月に一度囲碁で頭の体操を

してはいかがですか。初心者には解かりやすく指導を行なっております。囲碁に興味のお持ちのかた多数の参加を希望します。特に女性の参加を歓迎します。

連絡先 庶務部人事課 内線 3003
森山隆明

花道会

花道会は花を生け、それを鑑賞するサークルです。流派は池坊で指導教授は池坊華道総華督正教授研究会支部長森田きのえ先生と池坊華道準華督正教授森田よし子先生が御指導くださいます。御稽古日は毎週火曜日（月4回）本館地下の女子更衣室で午後5時より7時頃まで行なっております。その他毎年上野の国立美術館の池坊花道展に出品したり、都内デパートで開催される池坊華道展を見学したり、本館正面玄関のケースに各自の作品を順番に展示したりしております。なお、年2回懇親会を開きお互に趣味を同じくする者同志がお友達になり、和気藹々の内に楽しく、活発に勉強いたしております。振ってご参加くださいませ。

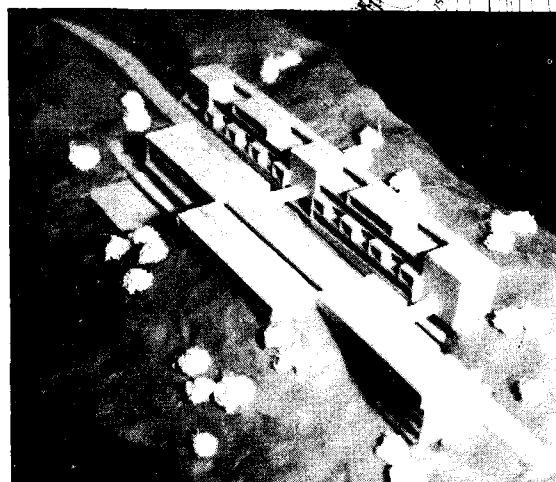
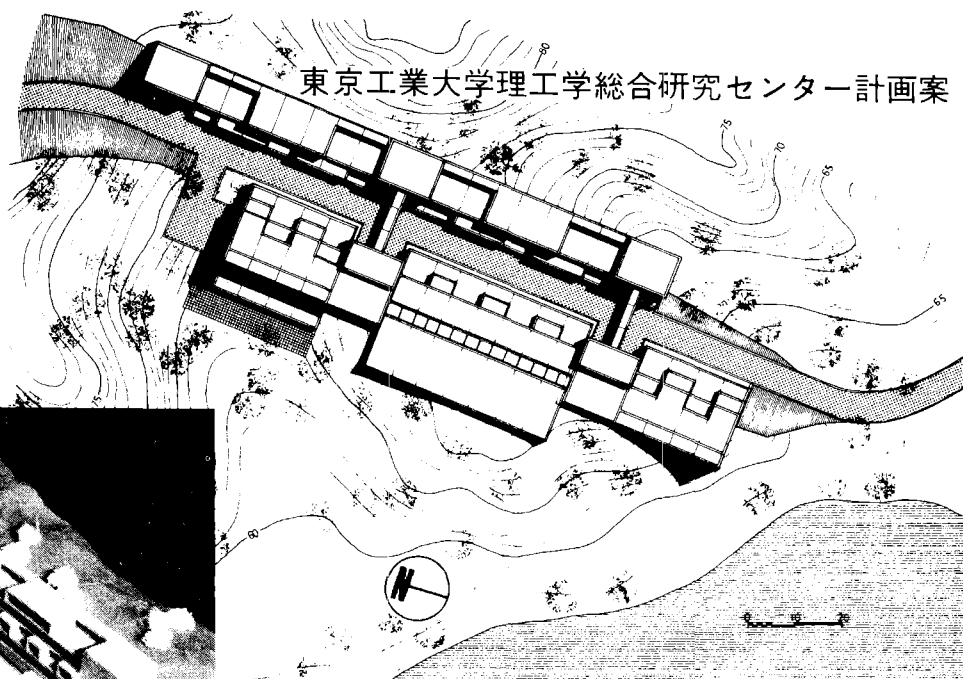
連絡先 経理部主計課 内線 2017
上田房子

洋裁サークル

私共洋裁サークルは昨年8月にうぶ声を上げ、まだ生後10ヶ月の赤ちゃんというところです。会員数は10人ですが現在出席者が減少しておりますので今年度は改めて新会員を募集させて頂きたいと思います。

先生は昨年まで東工大に勤務しておられた佐藤久美子さんと元文化式洋裁学校の先生の経歴の持ち主です。非常に分かりやすく親切に教えて頂ける先生です。私共は洋裁が一番苦手の者の集まりですが、仕事の後の時間を楽しく、マイペースで自分の着るものでも出来る様になりたい一心で始めました。始めは裁断、原型の取り方から始めて、やっと今までに作品を2点作ったという腕前ですので新しく入る方も気安くお入りになることができます。なお、女子更衣室にはミシン2台、アイロン1台、霧吹き、和裁用裁ち台が用意されております。

連絡先 附属図書館閲覧掛 内線 2094
渡部瑛子



総合研究館計画の進展状況



昭和36年本学創立80周年を記念して総合研究館建設の事業が募金の活動から開始された。当初は昭和40年に完成させる予定で進められたが、募金不調のために計画の遅延をよぎなくされ、昭和43年ごろからは大学紛争や研究地区としての長津田キャンパスの入手などの新しい事態が起つたために、いまだ計画の実現を果していないことは残念なことであり、募金に御協力いただいた方々に対しても申し訳ない次第である。以下この建設事業の現状を報告する。

募金活動は本年7月末でほぼ終了したが、当初の募金目標8億円の81.7%に当たる6.53億円余の寄付金受入をみることができた。目標額に達しなかったとはいえ、これだけの成果のえられたことは募金会幹部、特に故高田良作会長、現石毛郁治会長、山内俊吉、大山義年両副会長等の盡力にまつところの大きかったことが思い出される。これらの寄付金から生み出された利息を加えた事業資金は7月末現在で8.98億円とほぼ9億円の大台に達しようとしている。

これらの資金で建てられる総合研究館は初め大岡山地区に建設する計画で設計が固まりつつあったが、長津田地区に付置研究所、研究施設の移転することや大学院総合理工学研究科の新設されることに伴い、総合研究館も長津田地区に建設し大いに研究教育の両面に活用してゆきたいという希望が出されるにいたった。この方針は昭和45年4月募金会の常任理事会で採択された。したがって、そのごは長津田計画の進展状況をふまえて、なるべく早期に総合研究館を建設することとなったのである。

46年12月には長津田地区内の付替道路や整地のための予算が47年度にもらえる見通しもえられたので、募金会では建設委員会を開き、建物の概要、建設スケジュール等を審議し、また基本設計を建築学科の清家清教授に依頼することが決定された。この時点では47年10月に整地の進行をまって着工し、2ヶ年かかって49年9月末に完成する予定がたてられていた。しかし現在の見通しでは電気、ガス、水道等の引き込みの負担金等の問題もあり、国費で建てられる研究所等建物の建設と歩調を合せ、48年8月着工し、50年1月末完成を予定せざるをえなくなっている。

次に総合研究館が建てられたあと、それをどのように使用していくかという点については、募金の趣旨に沿いつつ、できるだけフレキシブルに考えていつたらいと思われる。ここ数年来度々検討され、常に支持されてきた考え方は(Ⅰ)協同研究ならびに開発研究の場としての利用、(Ⅱ)学内共同利用機器のセンターとしての利用、(Ⅲ)科学技術に関する研修の場としての利用である。こういった目的への使用を長期にわたって達成するためには、大学内に国が認めた組織を作

ることが是非とも必要になる。そこで48年度の概算要求には学内共同利用の研究施設として「理工学総合研究センター」の設置を要求した次第である。つまり募金会が総合研究館という建物をたてて大学に寄付すると、大学側ではそれを受入れて理工学総合研究センターという学内共同利用の研究施設として活用していくというわけである。総合研究センターのさらに詳細なことについては東京工業大学長津田地区の使用計画（いわゆるオレンヂ本）増補版（47年7月発行）を参照されたい。理工学総合研究センターで行なう協同研究の例としては海洋工学関係のプロジェクト、新しいエネルギー源の開発プロジェクト、環境保全のための研究プロジェクトなどが考えられており、異つた研究分野の多数の研究者が学部、学科、研究所等の既成の枠をのりこえて、ここで能率的に成果を挙げることが期待されるのである。

しかしながら本年度から始まった長津田地区全体の建設整備は今後少くとも数ヶ年を要すると思われるので、50年の初めに完成の予定されるこの総合研究館は、その本来の目的での使用のほか、学部教官の居室研究室、図書館分室、各種の集会室、食堂等としての暫定的な使用の価値も大きいであろうと予想される。

さてこの総合研究館の設計はさきにもふれたように清家教授のもとで鋭意進められている。この建物にはできれば長津田地区のモニュメントとしての外容をもたせたいという希望のある反面では、協同研究等の場としての機能性が要求され、たがいに相容れない要望の調整が必要となっている。このようなわけで現在までに三種の異つた基本設計の案が作成されている。ここに平面図および写真で示すのは7月末に作られた機能性を重視した第3案の概要である。この案では表に示すような部屋が用意されている。

共同利用機器室	1,800m ²
協同開発研究室	3,510
大中会議室	300
研修室	570
資料室	315
食堂	540
機械室	420
事務室	135
所長室、応接室	120
エントランスホール等	2,430
計	10,140

（このほかに約 300m²の外来者用宿泊施設）
が別棟として建てられる。

幸か不幸か着工の時期が本年10月から明年8月に延びることとなったので、今後はさらに利用者側の希望を十分に取り入れつつ設計を固め、立派な総合研究館を作り上げてゆきたいと考えている。（武田栄一記）



高井教授の死を悼む

工学部制御工学科 高井宏幸教授は6月28日、病氣療養中のところ死去されました。

高井教授は大正10年生れ、本学電気工学を卒業後、本学助手、助教授を経て昭和36年教授となった。

6月28日、同教授は従四位に叙せられ、勲四等旭日小綬章を授与された。



保健管理センター 業務開始

先にクロニクルNo.38でお知らせしたように、保健管理センター業務の本格的な発足のため準備中でしたが、9月1日より新しい建物で業務を開始した。

以下、センターの概要について紹介しよう。

●センターの業務

- ①一般定期健康診断
- ②放射線・有害薬物取扱者の特別健康診断
- ③身体的および精神的健康についての相談・助言
- ④環境衛生と伝染病予防についての指導・援助
- ⑤保健管理に関する調査研究
- ⑥救急処置

●センターの職員

所 長 (教授)	1
(兼任、保健体育)	
保健管理医 (助教授)	1
(専任、現在欠員)	
カウンセラー (講師)	1
(専任)	
看護婦	1
(専任)	
学 医 (内科)	1
(兼任、厚生課)	
放射線技師	1
(兼任、厚生課)	
薬剤師	1
(兼任、厚生課)	
(臨床検査)	
看護婦	2
(兼任、厚生課)	

●センターの学内電話

所 長	2064
カウンセラー	2064
学 医	2058
看護婦室	2065
(放射線・検査)	
事務・受付	2057

昭和48年度 大学院修士課程一般選考

大学院修士課程学生の一般選考は、8月1～10日に願書を締切り入学志願者総数 915名で、8月24～26日の3日間にわたり試験が行なわれた。受験者数は 877であった。

入学予定人員は約 460名である。

健康診断・口頭試問受験

資格者発表	9月9日
健康診断	9月18日
口頭試問	9月19日
合格者発表	9月29日

交通機関を利用して通勤 する妊娠中の女子職員の 取扱

昭和47年7月20日付けで人事院規則10-4 (職員の保健及び安全保持)の一部が改正され、妊娠中の女子職員が請求した場合で、当該職員が通勤に利用する交通機関の混雑の程度が母体の健康維持に重大な支障を与えるものと認められるときは、正規の勤務時間の始め又は終わりにおいて、1日を通じて1時間をこえない範囲内で勤務しないことを承認することができることとなりました。(この措置は非常勤職員にも適用されますが、当該職務専念義務を免除された時間については、給与は支給されません。)

なお、該当者は、母子健康手帳等を提示し、あらかじめ所属する部局長の承認を得なければなりません。

国家公務員共済組合連合会 本部受付施設の前納金 廃止

本部受付15施設 (長岡、沼津、伊東、熱海、熱海第2、鎌倉、逗子、片瀬、水上、日光、宮の下、箱根、湯ヶ島、稲取、修善寺各保養所) 及び北海道地区6施設 (弟子屈、旭川、札幌、定山溪、洞爺、湯ノ川各保養、宿泊所) の前納金 (200円) については、本年7月1日受付分より廃止することになりましたのでお知らせします。なお、申し込みの取消、変更はできるだけ早急に連絡するようにお願いします。

また、甲府保養所、宮崎宿泊所が改築のため47.8.1～48.6.30まで閉鎖することになりましたので併せてお知らせします。

「ユネスコ国際大学院」 合格者きまる

本年10月から開講される第8回ユネスコ国際大学院研修講座 (化学・化学工学関係) 研修生の合格者12名が、去る7月13日内定した。

インド

Dr. B. V. AGARWALA

Dr. P. K. GANGOPADHYAY
パキスタン

Mr. M. N. RANA

イラン

Dr. J. NAFISI-MOVAGHAR

アフガニスタン

Mr. M. Z. AHADI

韓国

Dr. K. O. Yoo

Mr. H. L. LEE

イスラエル

Miss Y. SIDERER

ブルガリア

Mrs. B. G. JELIAZKOWA

ポーランド

Dr. R. MALINSKI

エジプト

Dr. S. EL-ENEIN

Dr. M. ELNAGDI

図書館委員会

委員長	小松 勇 作
委員	石原 繁
	三宅 哲
	野宗 嘉明
	石本 新雄
	日野 幹雄
	日野 太郎
	川久保 正一郎
	佐藤 正雄
	梅谷 陽二
	渡辺 利雄
	阿部 光雄
	山本 明夫
	吉本 勇
	中村 哲朗
	青木 成文
(副館長)	井上 英一
(館長補佐)	明 昌高司
(館長補佐)	笹 尾靖也
(幹事)	図書館事務長

東京工大クロニクル No. 41

昭和47年9月11日

東京工業大学広報室 発行

東京都目黒区大岡山2-12-1

Tel.(726)1111 内線 2033